

安全と環境を考えるニシオの広報誌

2002

Vol-3

57

# 安全くん

現場も、自分の生活も。

しっかりやろう、始業前点検 !! の巻



インターネットホームページ「安全くんネット」もご覧ください。  
<http://www.anzenkun.nishio-rent.co.jp/>

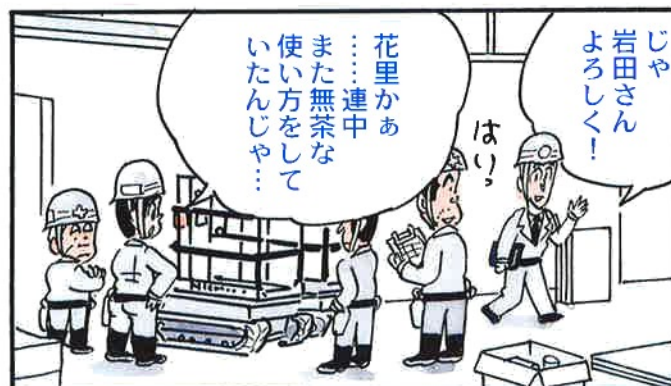
〈この広報誌は、再生紙を使用しています。〉

# それ行け!! 安全くん

画 中村よしのぶ



「現場も、自分の生活も。  
しっかりやろう、  
始業前点検！」の巻





## 解説コーナー

### 「室内系高所作業車の始業前点検」

(労働安全衛生規則 第194条の23)

◆労働安全衛生規則では、「高所作業車を用いて作業を行うときは、その日の作業を開始する前に、制動装置、操作装置および作業装置の機能について点検を行わなければならない」とあります。

室内系の高所作業車に限って見ていきますと、下記の内容になります。(点検の順から)

- 1) 外観点検 : 機体各部、作業床・手すり、タイヤ・クローラの亀裂・損傷、油圧系統からの油漏れの確認、バッテリー充電量の確認、各ランプの状態
- 2) スイッチ類 : 取り付け状態・緩み、キースイッチの作動状態、ステアリングの作動状態
- 3) 作動確認 : ブレーキの効き具合の確認、非常停止装置の確認、非常時降下バルブ作動状態、前進・後進、右旋回・左旋回、上昇・下降の作動確認(上部・下部操作)、作動時の異常音の確認、警報ブザー、ホーンの確認

■なお、異常があれば、即作業を中止し、機械番号・異常内容を即担当者へ連絡してください。また、作業台を上昇させている時は、作業床の下部に身体を入れないで下さい。非常に危険です。





一同  
機械についている  
点検ボックスから  
取説を見ながら  
チェックを始める



# ガンさんのワンポイントレッスン

## 『朝一番に職長がすべき仕事』

朝のKY活動を形式だけに終わらせず、より具体的な指示ができるようにするには当日の作業指示書など作業計画をしっかりと把握しておくことが重要ですが、現場の状況を確認し的確な指示ができるように心掛けたいものです。前日の後片付けの際に見て回っていると思いますが、夜の間に雨や風により足場や地面の状態が変化していることも考えられます。また、他職との連絡ミスなどにより資材や機械の配置が変わっていることもよくあります。こんなときは、指示したことと異なる前提が発生するわけですから、当然段取りが変わります。予定外の仕事に加わった時や作業の段取りが変更になった時など、作業員がとまどい、事故が発生しやすくなることを覚えておいてください。このような変更がないよう事前に先を読んで対策を指示することで、スムーズに仕事にかかれるようになります。つまり、朝一番に現場を見回しておくことで、きっちりと指示できるわけですから、少し早めに現場に入り確認をお願いします。なお、この朝の見回りの際に職長クラスの方が被災するケースも多いようです。安全を確認しながら慎重をお願いします。



## まめな点検こそ大事！～掃除機のトラブル防止～

建築工事で使用される掃除機は、一般家電の掃除機とは異なり、過酷な現場条件で使われるので、日々の点検を怠ると機器のトラブルを招きます。

### ●トラブルの予防は日々のメンテ

掃除機の吸い込み能力が落ちる主な原因は、フィルターの目詰まりです。特に粉塵の多い現場では、機能の低下やモータを焼損させる原因となります。フィルターをマメに点検し清掃しましょう。また電工ドラムを使用する際、電圧降下の恐れがあるのでタコ足配線は避けてください。

### ●塗装カスや研削火花による火災事故

内装工で、切削粉やマスキングテープ、塗料カスは混在して吸い込むとタンク内で、化学反応により蓄熱し発火する恐れがあるので、タンク内のゴミは早めに捨ててください。

また金属の切削直後は削粉が余熱を持っているので注意しましょう。





## 解説コーナー

### 『国土交通省 建設工事の事故の重点対策』に 法面からの墜落と飛来落下事故も加わる!

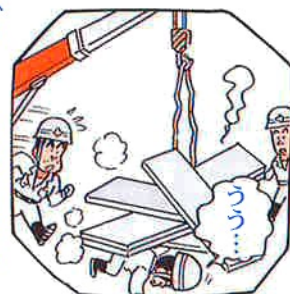
■国土交通省では、昨年発表した「墜落（足場）・重機・交通災害」の3つの重点項目に、今年度は新たに「法面からの墜落事故」と「飛来落下事故」も加え、関係各方面に労災事故撲滅のための対策を呼びかけていくことになりました。（国土交通省 建設工事事故対策検討委員会）

#### ◆法面から墜落事故

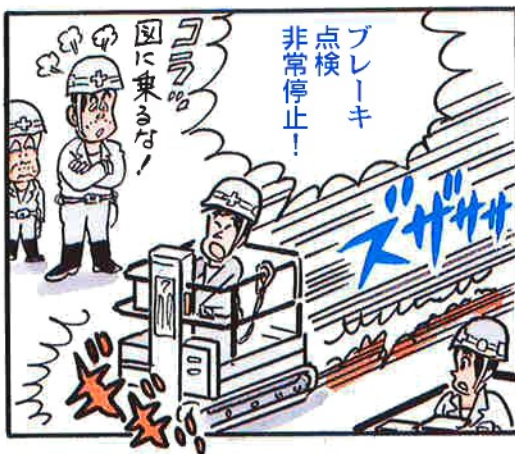
要因として親網設備の不備、安全帯の不適切な取扱い、作業員の不安全行動が上位を占めていることから、施工計画段階における法面作業の親網設備を徹底、チェックリスト（親網のたるみ具合や2点止め、強度、磨耗疲労の状況等）を使った親網点検の強化、各社を通じて不安全行動に対する注意喚起などを行う。

#### ◆飛来落下事故

クレーンの吊り上げ中に吊り荷が落下する、作業中の資機材の落下、仮置き・放置物の落下などの事故が多発している。要因として玉掛け方法の不備、作業員による作業手順の無視・不安全行動が上げられる。対策として玉掛け方法の点検強化＝①吊り上げ時の地切り作業の徹底、②つり荷との距離の確保、③立ち入り禁止処置の徹底、④長尺物への介錯ロープの使用の徹底、などを呼びかけていくとともにつり金具や玉掛けワイヤーの点検強化、資格者の再教育も推進していく。



点検を始める二人だが……



## 高速切断機の危険！ ～正しい使用方法～

水道管、銅管などの軟鋼パイプや丸棒の切断に使用される高速カッター。砥石による切断作業は機械に不備があれば大きな事故につながります。正しい使用方法をまとめてみましょう。

### ●始業前点検のポイント

使用する前は、①外観点検②作動点検③機能点検が必要です。外観上損傷や電源コード、プラグ部分への異常の有無は然り、切断作業前に試運転操作と安全装置、ストッパーピン、防護カバー等が機能しているか確認を。

### ●作業中の危険

急激なハンドルの押し下げは、砥石のヒビ割れの原因となります。切断時間が1分以上かかる場合は、途中で切り込みを止め10～20秒無負荷で運転しモータを冷却してください。乾式用の場合、水や切削油などは種類によって、切断時の火花で着火する場合があるので使用しないでください。

※砥石の取り替え、または取り替え時の試運転は労働安全衛生規則（36条）で定める特別教育を受けた人が行ってください。

